

小学3年1組 体育科学習指導案

指導者 小林 敏 朗

コート全体の様子や人の動きが見えるように体育館ギャラリーから観察し、話し合う場を設定したことは、空いている空間を見付け、その空間に動くことよさに気付くのに有効であったか。

1 単 元 名 作戦を考え、みんなでお宝をたくさんとろう ～トレジャーゲーム～

2 単元のねらい

友だちのよい動きを観察し、作戦にいかしながら、空いている空間を見付けて走ったりパスをつなげたりする力を高める。

3 授業の構想

(1) これは、バトンパスの学習の時間のふりかえりである。

今日は2回もリレーをしてつかれたけど、手の形や高さとかをちゃんと意識できてよかったです。みんなのを見てみると、A君やB君やCちゃんの手の形がとてもよかったです。(バトンを) わたしやすすい手をしていました。次は、わたしは(手の) 高さに気をつけたいです。

この時間は「手の形や向き、高さに気を付けてバトンパスをしよう」というめあてで学習に取り組んだ。この時間のふりかえりでは、およそ10名の子どもが友だちのよいところを見付けていた。こちらが何も指示しなくても、友だちの動きをお互いに見合い、よいところを見付けることができている。次の時間に「バトンパスの中で、友だちのよいところを見付け、まねしよう」というめあてで学習に取り組んだ。子どもたちは、数回のリレーを通して、バトンパスのポイントになるところに集中してお互いに見合うことができ、よくできている友だちを発表していた。本単元でも、お互いの動きを見合うためのはたらきかけをすることで、コート全体をイメージしたり、空いている空間を見付け動いたりする子どもたちの姿を期待したい。

(2) 本単元のトレジャーゲームは、自分の陣地から、途中の敵をかわし、宝(ボール)を取りに行ったり、自分の陣地に走って持って帰ったり、味方にパスをしたりして自分の陣地まで運び、その得点を競うゲームである。ボールを投げたい方向に投げたり、しっかりと捕ったりする投捕の基本技能を高め、さらに3年生段階でもコート内で空いている空間を見付けたり動いたりすることが比較的易しい特性がある。また、本単元は次のような位置付けの中にある(図1)。

○1・2年 おに遊び ドッジボール 宝はこび	○3年 トレジャーゲーム セストボール	○4年 ハンドボール サッカー (ミニコート)	○5年 バスケットボール (ハーフコート) サッカー(ミニコート)	○6年・中学校 バスケットボール サッカー
---------------------------------	---------------------------	----------------------------------	--	-----------------------------

図1

小学校低学年のおに遊びとボール運動の「ゴール型」をつなげる運動の一つである。ゴール型の運動において養いたい力の一つに「空間認識力」がある。空間認識力とは、自分や味方、敵がどの空間にいるのか状況をとらえる力、空間を活用していく力のことである。空間認識力には、空間を「見付ける」「動く」「使う・生かす」の3段階が考えられる。本単元は「見付ける」「動く」段階に視点を当て、段階的、系統的に高めていく単元である。

本学校園体育・保健体育科で願う学びの姿として「自分や仲間を観察し、思ったことを言葉や身体を

つかって説明している姿」がある。本単元では、子どもたちがチームの中で見合い、言葉や動きなどを使ってコミュニケーションを取り、得点するのに有効な作戦を考え試したり、修正したりすることで思考力・判断力・表現力を高めたい。さらに子どもたちは試行錯誤の中で、みんなで学び合い、高め合うことの大切さを感じていくと考える。

- (3) 本単元では空間認識力を高めることをねらいとして、特に空間を「見付ける」「動く」段階に視点を当てて単元を構想する。友だちのプレーを観察しながら得点によくつながる動きを見付ける学習をする中で、空いた空間を見付け走ったり、そこに動いてパスを受けたりすることの大切さがわかるように組み立てていく。子どもたちが考える「作戦」についても、最終的には空間を意識した作戦にまで高められるようにしたい。また、宝（ボール）を投げたい方向に投げたり、キャッチしたりすることを本単元のボール操作の基本技能にとらえ、毎時間継続して取り組んでいく。

第1次では、ルールに慣れ親しみ、ゲームを楽しむことをねらいとする。子どもからは自分のプレーでうまくできたことやうまくいかなかったこと、ルールについて困ったことなどが出されることが予想される。ルールについては話し合いをして検討・確認し、プレーの中でうまくいかなかったことについては特に大切に取り上げ、次へとつなげていく。

第2次では、第1次でうまくいかなかったことを分類、整理し、それを解決するために、友だちの動きを観察し、得点につながる動きについて考える学習を行う。まずは子どもたちが観察して気付いたことを大切にする。その中で、個人の動きに関すること、チーム内での役割に関すること、コートや空間に関するなどに分類・整理していく。次に、体育館ギャラリーから観察することを提案し、コート内の空間についての学びを深めていく。体育館ギャラリーから観察することを通して、コート全体の人の動きや空いている空間、その空間に動いている様子などが分かりやすくなることが考えられる。このような学びをいかし、ゲームでは空いている空間を意識した動きを積極的に取り上げ、認める声かけをしていく。

第3次では、子どもたちに作戦板をわたし、各チームで作戦を考えてゲームに取り組みせる。体育館ギャラリーから観察した経験をもとに、子どもたちはある程度、コート全体や友だちの動きをイメージしながら作戦を考えることと思われる。空間を意識した動きや作戦を考えているチームやゲームの中で実際に動いている子どもたちに積極的に声かけをしていく。

本時は、再度、体育館ギャラリーから友だちの得点につながる動きを観察することを提案し、前時の学習をさらに深める。具体的には、体育館ギャラリーからの観察や全体での学び合いを通して、空いている空間を見つけ走ったり、パスを受けようと動いたりすることが得点につながりやすいことが分かるようにしたい。また、ゲームを通して、空いた空間への動きが意識できるよう声かけをしていく。

4 展開計画（全6時間 本時5／6）

次	主 な 学 習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学び合い）
1	ルールに慣れて、ゲームをする。	1・2	・大まかなルールを知り、ゲームをしながらルールを確認する。 ◇ゲームを通してうまくできたことやうまくいかなかったことなどを出し合い、整理する。
2	友だちの動きを観察し、得点につながる動きについて考える。 話し合ったことをいかし、ゲームをする。	3 4・⑤	・友だちの動きを観察して、得点につながる動きについて考える。 ◇得点につながる動きについて話し合う。 ・体育館ギャラリーから観察して、得点によくつながる動きやコート全体の様子について考える。 ◇コート全体や空間を意識して、得点につながる動きについて話し合う。
3	作戦を工夫してゲームをする。	6	・作戦板を使い、コート全体をイメージしながら作戦を考えゲームをする

5 本時の学習

(1) ねらい

友だちの動きを体育館ギャラリーから観察し、得点につなげるために、空いた空間を見付け、その空間に動くことのよさがわかる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組 (◎は、学びをいかしている子どもの姿)	教師の支援と願い・評価
1. 「ところてん鬼ごっこ」や「宝キャッチ競争」を通して体をほぐしたり、ボールの投捕に慣れたりする。 2. 前時のふりかえりを聞きながら、本時のめあてを把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ところてん鬼ごっこ」では周りをよく見て動くこと、「宝キャッチ競争」では相手を見て投げることに、しっかりと手でキャッチすることを中心に声かけをする。 ・前時のふりかえりを紹介しながら、本時のめあてにつなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">コート全体を見て、さらに得点につながる動きを見つけたり、確かめたりしよう。</div>	
3. 友だちのゲームを見て、コート全体の様子や得点につながる動きについて考える。 4. 得点につながる動きについて話し合う。 ・素早く動いている。 ◎敵がいなくて素早く走って宝を運んでいる。 ◎味方が宝を持っているとき、敵がいなくて動いてパスを受けようとしている。 5. 話し合いをもとに、ゲームをする。 ・たくさん動こう ◎敵がいなくて場所を見つけよう。 ◎敵がいなくて場所へ動こう。 6. ふりかえりをする。 ・たくさん動いて得点できたぞ。 ◎敵のいないところに動くこと走ることでもパスすることもやりやすかった。 ◎敵の動きを見ながら、走ったり、パスを受けたりするとよさそうだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館ギャラリーから、走って得点する友だちやボールをパスしようとしている友だち、パスを受けようとしている友だちに注目してどのように動いているか、よく見るよう伝える。 ・話し合いでは、気付いたことを言葉だけでなく、動作を入れたり、必要に応じて作戦板などを使ったりして、よく分かるように説明するよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価の観点（思考・判断）</p> <p style="text-align: center;">空いている空間を見付け、動くことのよさに気付いている。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法 発言・観察】</p> <p>支援</p> <p style="text-align: center;">作戦板を使って視覚的に分かりやすく説明する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを意識して動くよう伝える。 ・空いた空間を意識した動きを認める声かけをする。 ・子どものふりかえりから、話し合ったことが実際のゲームの中で動きとして表れていた点を認め、紹介し、次時への意欲づけを行う。

(3) 思考力・判断力・表現力の評価

評価基準	A	B	C
	空いている空間を見付け、その空間に動くことのよさに気づき、積極的にその場所を伝えようとしている。	空いている空間を見付け、その空間に動くことのよさに気付いている。	空いている空間を意識せず、やみくもに動けばよいと考えている。